

第2学年	数学科	使用教材	未来へひろがる数学2 (啓林館) よくわかる数学の学習2 (明治図書) 学年別・数学の計算練習2年 (新学社)
------	-----	------	--

<学習の目標>

- ・具体的な事象における2つの数量の変化や対応を調べることを通して関数関係を見だし考察し、表現することができる。また、関数関係を見だし考察し表現することができる。
- ・三角形や四角形などの多角形の角の大きさについての性質を数学的な推論を用いて調べることができるようにする。その際、図形をよく観察したり、作図したりする操作や実験などの活動を通して、その推論の過程を他者に伝わるようにわかりやすく表現できるようにする。

授業のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・問題集なども忘れ物をせず、わからないときはできる限り早く先生に質問すること ・説明を聞くときとノートをとるときを区別し、授業中に自分で考える時間をつくること ・黒板に書いてあること以外にも先生の話の中で大事だと思ったことはノートに書くこと
家庭学習について	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で習った範囲はすぐに教科書や問題集などを使って復習しておくこと ・習ったことが定着するまで、何度も問題集をくり返し行うこと
テストについて	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト

評価の観点	判断基準について
基礎的な概念・原理・法則を理解し、数学的に表現・処理する技能を身につけている。	授業中の様子・小テスト・定期テスト
数量・図形などの関係を的確にとらえ、論理的に考察することができ、数学的に表現する力を身につけている。	授業中の様子・小テスト・定期テスト
主体的に粘り強く学習に取り組み、数学を生活や学習に生かそうとしている。	授業中の様子・単元レポート・提出物

<2学期>

月	学習内容	付けさせたい力	課題
8 9 10 11 12	3章 一次関数 ・一次関数とグラフ ・一次関数と方程式 ・一次関数の利用 4章 図形の調べ方 ・平行と合同 ・証明	<ul style="list-style-type: none"> ・一次関数について理解すること。 ・事象の中には一次関数として捉えられるものがあることを理解すること。 ・二元一次方程式を関数を表す式とみること。 ・一次関数として捉えられる2つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連づけて考察し表現すること。 ・一次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現すること。 ・平行線や角の性質を理解すること。また、多角形の角についての性質を見出すこと。それらを確かめ説明すること。 ・平面図形の合同の意味およびその方法について理解すること。 ・三角形の合同条件をもとにして図形の性質を論理的に確かめること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よくわかる数学の学習2 ・学年別・数学の計算練習2年 ・単元レポート ・よくわかる数学の学習2 ・学年別・数学の計算練習2年 (定期テスト前課題)

<荒牧中学校 研究テーマ>

「自主・自立を促し、主体的に学び活動する生徒の育成

～言語活動の先にある協同的探究を目指して～

各教科で工夫していること、思考力を高めたいこうとするために各教科で行っている手立て